



# D BOND-C

## [使用方法]



20kgペール缶



12kgペール缶

### 1.使用方法

#### [標準配合比]

- Dボンド-C100に対してセメント80(重量比)

※粘度の調整はセメント量で加減してください(添加量は標準配合比の重量比で20%増量が限度です)。

#### [混練方法]

- セメント適量の約半量を最初に加えてよく混練し、その後残りのセメントを少量ずつ加え練ってください。
- 白色セメントも使用できます(白色セメント使用の場合は、練り置き時間及び張り付け時間が短くなります)。

### 2.施工方法

- (1)コテ圧をかけて下地に刷り込むように塗り付けた後、必要な厚さになるように塗り付けてください。
- (2)5~7mm厚のクシ目ゴテでクシ目を立ててください。
- (3)Dボンド-Cモルタル塗布面にすぐに仕上げ材を張り始めてください。  
 ※特に外部での施工の場合、張り付けは皮張りしやすいので基本的には改良圧着張りで施工してください。  
 ※張り付けの際はDボンド-Cモルタルの表面を指で触り、べとつきがあるか確認してください。  
 べとつきがなく皮張りしている状態の場合は掻き落とし、再度塗り付けてください。  
 ※仕上材の吸水率が高い場合は水湿し、またはDKシーラーの3倍液を裏面に塗布し、吸水を調整してください。
- (4)仕上げ材をしっかりとみ込むようにして張り付けて、仕上げ材の裏面全体にDボンド-Cモルタルがなじむように、タキ板やヴィブラートなどを使用して圧着してください。仕上げ材を適宜削がして、裏面にDボンド-Cモルタルがしっかりと付着しているか確認してください。  
 ※石材(400角以上)を施工する場合は、止め金具を併用してください。
- (5)目地詰めは、硬化を確認してから施工してください。  
 ※通常は12時間以上の養生で目地詰め出来ませんが、冬場(低温時)は硬化が遅くなりますので、養生を長めに取ってください。  
 ※厚付けをした場合は硬化時間が遅くなりますので目地詰めは硬化を確認の上、施工してください。

### 3.使用上の注意

- タイル及び石材張り以外には使用できません。
- 長期の製品在庫品は、浮水分離することがありますので、使用前に良く攪拌して中身を均一にご使用ください。
- セメント以外の物は混ぜないでください。
- 混練後、可使用時間が経過して硬化した材料は使用できません。水などを入れている可使用時間の延長は行わないでください。
- 吸水率の高い石材は、張り付け材のしみ出しがある場合がありますので事前にテスト張りを行い、確認のうえ施工してください。
- 収縮の心配のある下地は、伸縮目地を設けてください。
- 使用した道具は早めに水洗いをしてください。

### 4.安全上の注意

- 施工中は、防塵マスクや保護手袋を着用してください。
- 施工時は必ず換気を行ってください。また、施工後もDボンド-Cモルタルが硬化するまではできる限り換気を行ってください。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ時は、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗いを十分に行ってください。
- 詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。

### 5.保管上の注意

- 開缶後の保存は、必ず密封をして保管してください。また開缶後は早めに使い切ってください。
- 保管は子供の手が届かない箇所、5~35°Cの直射日光、雨露の当たらない冷暗所で行ってください。
- 凍結した製品は解凍しても使用できません。

試験項目	接着強さ	判定基準
標準養生	2.18	0.6N/mm <sup>2</sup> 以上
低温硬化養生	1.70	0.3N/mm <sup>2</sup> 以上
温水浸漬	1.11	0.3N/mm <sup>2</sup> 以上
熱劣化	2.44	0.3N/mm <sup>2</sup> 以上
アルカリ水中浸漬	0.80	0.3N/mm <sup>2</sup> 以上

セラミックタイル張り用接着剤 JIS A 5548・タイプIの試験方法に準拠

#### (1)標準養生

温度23±2°C、湿度50±10%雰囲気中  
168時間養生

#### (2)低温硬化養生

温度5±2°C雰囲気中168時間養生後、  
さらに同じ条件で672時間養生

#### (3)温水浸漬処理

温度5±2°C 雰囲気中168時間養生後、  
50±2°Cの温水中24時間浸漬処理

#### (4)熱劣化処理

温度23±2°C、湿度50±10%雰囲気中  
168時間養生後、60±2°C中672時間静置処理

#### (5)アルカリ水中浸漬処理

温度23±2°C、湿度50±10%雰囲気中168時間養生後、水酸化カルシウム飽和溶液(23±2°C)中に48時間浸漬処理

【お願い】・本カタログの記載内容は、技術室の資料を基に作成し、信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所環境・使用材料・施工条件などが異なるため、すべての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも施工前に確認試験をされまようお薦めします。  
・記載商品の一部内容が、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更される場合があります。